

国内 52, 53 例目（沖縄県）の CSF（豚コレラ）が発生！！

令和2(2020)年1月8日、沖縄県うるま市において2例のCSF発生が確認されました。国内では12月17日(愛知県田原市)に続き52,53例目、沖縄県では初めての発生となります。

◇発生概要

	52 例目	53 例目
所在地	沖縄県うるま市	沖縄県うるま市 (52 例目の農場に隣接)
飼養状況	393 頭	921 頭
関連農場	1 農場(432 頭)	なし
経緯	1月6日 飼養豚が死亡している旨の農場からの連絡を受け、家畜防疫員が立入検査を実施 1月8日 農研機構動物衛生研究部門による遺伝子解析の結果、CSF の患畜であることを確認	1月7日 52 例目の隣接農場として、家畜防疫員が立入検査を実施 1月8日 家畜保健衛生所の精密検査により、CSF の疑似患畜であることを確認

※ 発生農場及び関連農場の飼養豚全頭に対し、直ちに殺処分等の防疫措置が実施されます。

◇野生イノシシの検査(岐阜県での初発月(H30.9月)から現在までの検査状況)

(令和2(2020)年1月4日時点)

県名	陽性頭数(頭)	検査頭数(頭)	県名	陽性頭数(頭)	検査頭数(頭)
岐阜県	1,119	2,853	石川県	13	225
愛知県	109	1,456	滋賀県	84	395
三重県	33	1,265	埼玉県	47	554
福井県	44	373	群馬県	14	616
長野県	147	547	静岡県	36	770
富山県	31	204	山梨県	3	71

上記12県以外1,229頭検査し、全頭陰性であることを確認

※栃木県(1月7日時点)では捕獲イノシシ304頭及び死亡イノシシ32頭検査し、全頭陰性を確認

豚飼養者の皆様は、飼養衛生管理基準の再チェックと徹底をお願いします。
(特に以下の事項を重点的に実施してください。)

- ・野生動物の侵入防止対策の徹底
- ・飼養豚の異状の有無の確認
- ・異常豚発生時の早期通報の徹底
- ・農場出入口での消毒の徹底 等
- ・循環型飼料を給与する場合は、必ず適切に加熱処理されたものを給与

野生イノシシ対策として、防護柵や消毒ゲートを積極的に設置しましょう

飼養豚に異状を認めたら、速やかに管轄の家畜保健衛生所に御連絡ください。

県央家畜保健衛生所	宇都宮市平出工業団地6-8
TEL:028(689)1200	FAX:028(689)1279 携帯:090-7205-0895 (夜間・休日)
県南家畜保健衛生所	栃木市惣社町1439-20
TEL:0282(27)3611	FAX:0282(27)4144 携帯:090-7205-1402 (夜間・休日)
県北家畜保健衛生所	那須塩原市緑2-12-14
TEL:0287(36)0314	FAX:0287(37)4825 携帯:090-7205-1826 (夜間・休日)